

自主投稿も受け付けます。原稿の記入項目は、①大学名、②研究科名、③論文題目です。対象は1991年度で、締切は5月31日です。

90年代の気象学への手引：気象学を勉強したいが、どのような本をどのように勉強したらよいか、具体的な方法を教えてほしい、という天気読者の声に応え、現代の気象学を自らの意志で新たに学ぼうとする、気象官署等の気象に関する職場の職員や大学の学部学生等の会員に役立つための入門講座です。気象学の専門知識が少ない読者にも分かりやすく、なおかつ最先端の様子が手に取

るようにわかる魅力的な手引を目指しています。内容は、参考文献として教科書・参考書等の書籍、最新の情報が掲載される国際学会等の予稿集、各分野の進展を解説したレビュー、時代を画するような論文などを紹介しながら、1980年以降の各分野の進歩を解説し、読者に現在何が分かっている何が分かっているのかを知ってもらおう、というものです。

その他：以上の欄の何れにもあてはまらない投稿は天気編集委員会にご相談下さい。

第26期第4回理事会議事録

日時：10月23日 12時—14時

場所：名古屋国際会議場（白鳥センチュリープラザ）

出席者：浅井 小倉 竹内 藤谷 木田 村上 青木
安富 中村 安成 田中(正) 武田 光田
廣田 佐橋 小林 石島
オブザーバー 里見 田中(進) 加藤 谷口
田沢

議 事

報告事項

A. 各委員会報告

「庶務」

- ・平成3年度「公益法人調査」
10月1日 文部大臣提出
- ・平成3年度「研究成果公開促進費」
10月4日 文部大臣提出
- ・後援名義使用依頼 1件

「会計」

- ・9月分の収支状況。
- ・1992年度の収支予算案が提示された。

「天気」

- ・9月号の内容と10、11月号の予定。

「気象集誌」

- ・Vol. 69, No. 6 論文の紹介。
- ・アジアモンスーン特集号の投稿状況。

「賞」

- ・奨励金受領候補者の投票結果が報告された。

「教育と普及」

- ・第26回の夏季大学への懸案事項を報告。

「講演企画」

- ・堀内基金奨励賞受賞者（大村纂会員）の記念講演は来年の春の大会で行う。

「IAMAP」

- ・1993年 IAMAP の Scientific Program の紹介。

「通信メディア」

- ・9月の着信件数（196件）と内容。

B. 審議事項

1. 第10回常任理事会の議事録は一部修正の上承認された。
2. 会員の新規加入について、個人17名、団体1が承認された。
また、退会について個人3名の報告があった。
3. 第27期役員選挙管理委員長の委嘱について気象庁観測部高層課八木正允氏に委嘱することになった。
4. 1992年度事業計画案・予算案についてそれぞれ案が提出された。本案については今後とも継続的に検討して行くこととした。

C. 話 題

1. IAMAP'93 の取り組み状況の説明があり、また、組織委員会を設置することについて話し合いが行われた。
2. 学会の運営体制について役員制度、支部のあり方及び事務局体制等について時間をかけて話し合いが行われた。このことについては「総合計画」、「庶務担当」理事が中心となり理事会・常任理事会で総会提案に向けてさらに検討をすることになった。